

2016年度 菊原 光治 客員教授 邦楽特別講義
「秋風辞」の演奏法とその解釈

1. 日 時 : 2016年9月30日(金)13時30分～16時45分

2. 場 所 : F号館 106教室

3. 対 象 学 生 : 邦楽 専攻・コース生 学内のみ他聴講可

4. 講 師 紹 介 : 菊原 光治 客員教授

昭和41年 人間国宝菊原初子師の内弟子となり地歌三絃・箏曲の修行に入る。

昭和45年 菊寺の称号を受ける。

昭和46年 大阪文化祭奨励賞受賞。

昭和47年 野川流三絃組歌及び古生田流組歌を全曲習得。

昭和48年 第3回グリーンリボン賞新人賞を受賞。

平成4年 五代目菊原継承披露。

平成5年 大阪文化祭賞、平成11年 文化庁芸術祭優秀賞受賞。

現在、琴友会会長。

5. 講 義 概 要 :

地歌箏曲の中でも、大阪に古くから伝承されている菊原家の古典曲を通して、その演奏法と演奏曲への解釈を学ぶ。特に今回は数ある古典曲の中でも、菊原琴治作曲「秋風辞」を取り上げ、菊原家に伝わる有名曲をご指導いただく。

そして11月に開催する今年度の邦楽演奏会において、菊原光治先生と学生が同じ舞台に立ち、今回の特別講義の成果を披露することを目的とする。

○菊原琴治作曲「秋風辞」について

曲の説明

箏・三絃 それぞれのパートの奏法について

尺八との掛け合いに関する諸注意

合奏練習を通しての曲の解釈